



【ほむぴあ】 きくがわ病院だより No.96

HOSPITA

令和5年1月19日発行



岳洋中学校職場体験学習／看護補助業務



岳洋中学校職場体験学習／リハビリ体験



シルバー人材センター草刈りボランティア／菊川病院



シルバー人材センター草刈りボランティア／家庭医療センター

岳洋中学校職場体験学習(令和4年10月18日～20日)

10月18日～20日の3日間、岳洋中学校職場体験学習が3年ぶりに実施されました。病院概要の説明や施設見学に加え、リハビリ体験、看護補助業務、図書・雑誌の整理などを体験してもらいました。【写真中 上2枚】

草刈りボランティア(令和4年10月22日)

10月22日、菊川市シルバー人材センターボランティアの皆さまが菊川病院と家庭医療センターの草刈りを実施してくださいました。当日は、菊川病院に29名、家庭医療センターに24名の方々が草刈りに参加し、伸びた草木を整えてくださいました。きれいな景観を保つことにご協力いただき感謝申し上げます。【写真中 下2枚】

菊川市立総合病院広報

〒439-0022 静岡県菊川市東横地1632番地 TEL: 0537-35-2135 (代)・FAX: 0537-35-4484
URL <https://www.kikugawa-hosp.jp>



菊川病院HP

新年あけましておめでとうございます

菊川市民の健康を守る。最近こんな言葉に虚しさを感じる。所詮私たちだけではこれくらいのことしかできないが、せめて思想としてはもっと広大なものを描いて、この地域全体で、今できることをやってみよう。世界の中心はどこにでもあり、周辺はどこにもないと思いたい。

地域住民が大きな志をもって一体となることができることの一つに、「ワンヘルス」という考えがある。人間が健康であるためには、動物も、そして自然環境や生態系も健康でなければならない。すべて合わせて、「一つの健康問題」としてとらえる。森林破壊や地球温暖化などで生態系が悪化し、野生動物が住処を追われ、最近しばしば報道されているように人の居住区で接触する機会が増えれば、未知のウイルスは広がりやすくなる。COVID-19 も一説では野生動物が由来と考えられている。これでは人類はパンデミックに度々襲われることとなる。これまでは「里山」がそのバリアとなっていたが、日本では里山の風景も次第に失われつつある。「アグロエコロジー」という概念がある。

これは、現行の農業 / 食料システムで破壊されてきたものを再び取り戻すためのチャレンジであり、環境面だけではなく、経済、社会、文化の多様性や、生産者・消費者双方の主体性の向上を目指すものである。日本の有機農業に対する考え方、つまり小農、家族経営、多様な作物、有機的な循環といった特徴は、そのままアグロエコロジーの概念と類似している。ここにデジタル技術を組み合わせることで、生産者と消費者との間に循環的で連帯的な経済を作り、輸送コストの削減やフードロスも含めた地球環境への負担軽減を達成することができる。このような地域をみんなで創りあげ、次世代にも魅力的な田園都市を後世に残していきたいと思いませんか？



院長 松本 有司

たくさんのご支援をいただきありがとうございます

新型コロナウイルス感染症の勢いは弱まることなく、最前線に対応している医療現場のスタッフへの負担は長期化しています。そのような状況の中で、地域の皆さまからの心温まるご支援やお言葉は何よりの励みになっております。

職員一同、心より感謝申し上げます。



菊川市・菊川市農業振興会
(市内花き農家、JA遠州夢咲)
／花束



おせっかいの会／野菜福祉募金、マスク



JA遠州夢咲トマト委員会／夢咲トマト

寄贈をいただき ありがとうございます

大石征子様より絵画を寄贈いただきました。いただいた絵画は1階中央処置室前に飾らせていただきました。ありがとうございました。



大石征子 様／絵画



菊川市病院事業

決算報告

令和3年度決算総括事項

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策に、院長を筆頭に職員一丸となって対応をまいりました。事業全体としては、主に第四次中期計画の推進及び市民への積極的な情報発信を行いました。第四次中期計画の推進については、実行部隊としてのワーキンググループを組織横断的に編成し、現場の意見を中心とした戦略を立て、解決に向けた取り組みを進めました。今後も新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されますが、経営改善に向けた取り組みを進めるべく、計画の推進に努めてまいります。市民への積極的な情報発信については、栄養管理関連情報、臨床工学関連情報及びリハビリ関連情報の動画サイトを所属職員が作成し、ホームページに掲載しました。今後も、市民が求める情報を、正確にわかりやすく提供してまいります。当院の職員体制については表1のとおり、令和2年度と比較して診療部は2名増、診療技術部は3名減、看護部は1名減となりました。

患者数等の状況は表2のとおり、入院では令和2年度比1,030人増の63,736人(1日平均174.6人)、外来では令和2年度比4,514人増の124,446人(1日平均514.2人)となりました。内訳としては、入院は一般科全体で368人の増、リハビリテーション科で768人の増、精神科で106人の減でした。外来は、本院で3,648人の増、家庭医療センターで866人の増でした。

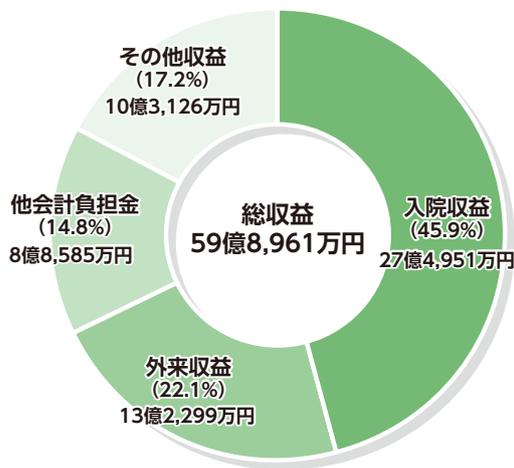
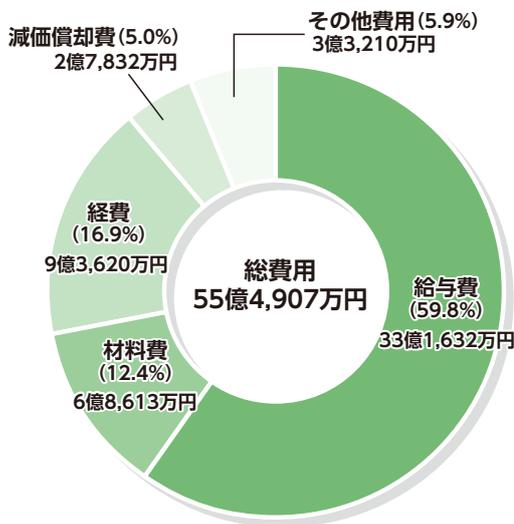
収益については、入院収益は2,475万円の減、外来収益は8,910万円の増となりました。さらに新型コロナウイルス感染症対策に伴う国からの補助金などが加わり、総収益は令和2年度比3億8,823万円増の59億8,961万円となりました。

表2：患者数等の状況

	令和2年度	令和3年度	増減	増減率
入院延べ患者数 (人)	62,706	63,736	1,030	1.6
1日平均入院患者数 (人/日)	171.8	174.6	2.8	1.6
病床利用率 (%)	66.1	67.2	1.1	1.7
入院診療単価 (円)	44,164	43,136	▲1,028	▲2.3
平均在院日数 (日)	20.5	23.2	2.7	13.2
外来延べ患者数 (人)	119,932	124,446	4,514	3.8
1日平均外来患者数 (人/日)	493.5	514.2	20.7	4.2
外来診療単価 (円)	10,261	10,585	324	3.2

表1：年度末職員数 (3月31日現在)

	令和2年度	令和3年度	増減
診療部	33	35	2
診療技術部	72	69	▲3
看護部	168	167	▲1
事務部	27	27	0
計	300	298	▲2



費用については、診療材料費などの材料費、医療機器などの減価償却費で減となりました。一方、給与費、経費は増となりました。結果的に総費用は6,435万円の減の55億4,907万円となりました。

この結果、令和3年度は4億4,054万円の純利益となりました。

【収益的収支*状況】

	令和2年度	令和3年度	増減	増減率
総収益	56億 138万円	59億 8,961万円	3億 8,823万円	6.9%
入院収益	27億 7,426万円	27億 4,951万円	▲2,475万円	▲0.9%
外来収益	12億 3,389万円	13億 2,299万円	8,910万円	7.2%
他会計負担金	8億 3,484万円	8億 8,585万円	5,101万円	6.1%
その他収益	7億 5,839万円	10億 3,126万円	2億 7,287万円	36.0%
総費用	56億 1,342万円	55億 4,907万円	▲6,435万円	▲1.1%
給与費	32億 7,549万円	33億 1,632万円	4,083万円	1.2%
材料費	6億 8,739万円	6億 8,613万円	▲126万円	▲0.2%
経費	9億 523万円	9億 3,620万円	3,097万円	3.4%
減価償却費	3億 96万円	2億 7,832万円	▲2,264万円	▲7.5%
その他費用	4億 4,435万円	3億 3,210万円	▲1億 1,225万円	▲25.3%
収 支	▲1,204万円	4億 4,054万円	4億 5,258万円	-

【資本的収支*状況】

	令和2年度	令和3年度	増減	増減率
資本的収入	4億 5,247万円	5億 817万円	5,570万円	12.3%
企業債	1億 6,940万円	1億 6,610万円	▲330万円	▲1.9%
他会計出資金	2億 6,304万円	2億 6,415万円	111万円	0.4%
国県補助金	1,183万円	7,792万円	6,609万円	558.7%
寄附金	200万円	-万円	▲200万円	-
固定資産売却代金	620万円	-万円	▲620万円	-
資本的支出	8億 2,117万円	8億 635万円	▲1,482万円	▲1.8%
建設改良費	1億 7,393万円	2億 2,858万円	5,465万円	31.4%
企業債償還金	6億 4,724万円	5億 7,777万円	▲6,947万円	▲10.7%
収 支	▲3億 6,870万円	▲2億 9,818万円	7,052万円	-

*収益的収支…経営によって生じる収益(主に診療報酬)と費用(主に給与費、材料費など)を指します。

*資本的収支…施設や医療機器を整備するためのもの。収入は企業債や他会計出資金など、支出は医療機器の購入や企業債の償還金などを指します。

外来診療担当医表

受付時間は各診療科・曜日によって異なりますが、原則8:00~11:00(土、日、祝日は休診)です。
必ず各診療科の特記事項(表の最右欄)を確認してください。

		区分	月	火	水	木	金	特記事項	
内科	午前	初診	丸山 正隆 ◎石橋 るり	△熊澤 あず美 △岩泉 守哉	◎富永 宏睦 △浅井 雄介	○望月 優作 ○鈴木 崇弘	△美崎 昌子 山田 健太	●初診は原則紹介患者さまのみ ●呼吸器・内分泌・腎臓内科の初診は当日、初診担当医師が診察いたします	
		再診	消化器	山田 健太 望月 一文	副院長 二見 肇	◎石橋 るり 望月 一文	◎石橋 るり		副院長 二見 肇 ○鈴木 崇弘
			内分泌		△山下 美保				△釣谷 大輔
			呼吸器	△古橋 一樹			△井上 裕介		
			循環器	◎富永 宏睦 △熊澤 あず美	院長 松本 有司 ○望月 優作	院長 松本 有司 △熊澤 あず美	◎富永 宏睦		丸山 正隆
			血液				○杉本 雄哉		
	腎臓		△藤倉 知行						
	午後	再診 専門診療	循環器 熊澤 あず美 (ペースメーカー外来)	内分 山下 美保	血液 杉本 雄哉	呼吸器 井上 裕介	内分 釣谷 大輔	●午後再診は予約患者さまのみ	
	リウマチ科	午前	予約制				△大橋 弘幸	診療日 1/26、2/9、16 事前問合せ	
	小児科	午前	初・再診	△金子 洋平	○中島 隼也	○中島 隼也	○中島 隼也	○中島 隼也	お電話にてお問い合わせください ワクチンはどの曜日でも 接種可能(事前予約制) (金)神経外来 第2・4週
午後		初・再診/ 特殊外来 (予約制)		(心身医療外来 初診) ○中島 隼也	乳児健診(13:00~) △川上 領太	△金子 洋平 (心身医療外来) ○中島 隼也	(心身医療外来 第1・3週) ○中島 隼也 (神経外来 第2・4週) △鈴木 輝彦		
脳神経外科	午後	初・再診				△鮫島 哲朗		(木)受付8:00~14:00	
外科	午前	初診	阿久津 友洋 ~9:30	△井田 進也 (10:00~11:00)	副院長 内山 隆 ~10:00	○中村 光一 (9:00~10:00) △武田 真 (10:00~11:00)	○中村 光一 ~10:00	(月)初診受付 8:00~9:30 (水・金)初診受付 8:00~10:00 乳腺初診電話予約 15:00~16:30 (火)(金)の内山医師の再診は完全予約制	
		再診	副院長 内山 隆 ○中村 光一	副院長 内山 隆 (完全予約制) 阿久津 友洋 ○中村 光一	阿久津 友洋	副院長 内山 隆	副院長 内山 隆 (完全予約制)		
		処置	阿久津 友洋				阿久津 友洋		
	午後	予約制			静脈瘤外来(偶数週)				
心臓外科	午後	予約制				△椎谷 紀彦(第2週)	再診予約のみ		
総合病	午前	初診	○萩原 和弘	○山下 大輔	◎鈴木 義司	○飛鳥井 光	竹内 祐貴	受付8:00~10:00予約診は除く ▽▽▽	
		予約再診	竹内 祐貴 (◎飛鳥井 光(第1週))	◎鈴木 義司 (△山下 大輔)	○山下 大輔 竹内 祐貴(第1週) (◎飛鳥井 光(第2週))	○萩原 和弘 △相馬 昭子	○飛鳥井 光 ○山下 大輔(第1・3・5週)		

院	整形外科		○飛鳥井 充(第1週)	村田 英之	○萩原 和弘(第2週) ○飛鳥井 光(第5週)	△相馬 朋子	○村田 英之(第2-4週)	スポーツ外来(月)~16:00 (当日予約可) 乳児股関節外来(水)は予約制	
		午後	特殊外来	スポーツ外来・装具		ギブス外来・装具 乳児股関節外来 (第1・2・3・5週)			
	ペインクリニック	午前	予約制		◎木村 健			2F 麻酔科診察室	
	泌尿器科	午前	初・再診			○鈴木 泰介		○鈴木 泰介 (偶数週のみ)	初診は原則紹介のみ 事前 予約のみ (火)14:00~16:00
		午後	初・再診		△田村 啓多				
	形成外科	午後	予約制		△瀧口 徹也(第1・3・5週) △杉村 友紀(第2・4週)			電話予約受付15:00~16:30 初診受付要電話予約	
	産婦人科	午前	① 診	△岩田 智子	△平井 久也	△平井 久也	△柴田 俊章	○城向 賢	マザークラス前期 第2月曜日 マザークラス後期 第3火曜日 母乳外来希望の方は当日 婦人科を受診してください
			② 診	○山田 智子	△鳴本 敬一郎	△鳴本 敬一郎	○城向 賢	○山田 智子	
		午後	① 診				△岩田 智子 予約診のみ		
			特殊外来	母乳外来	母乳外来	母乳外来	母乳外来	母乳外来	
耳鼻咽喉科	午前	初・再診		△新村 大地		△瀧澤 義徳			
皮膚科	午前	初・再診	△藤山 俊晴 △島内 隆寿	△影山 玲子		△坂本 慶子 (奇数週のみ)	△栗原 和生	(月)藤山Dr 1/30,2/6,20 島内Dr 1/23,2/13,27 (木)2/2,16 (木)初診~10:30	
精神科	午前	初・再診	◎大城 将也 /山口 潔乃 △黒宮 恵 /大津 団	山口 潔乃 松本 拳	◎大城 将也 △長谷川 美沙紀 /△田中 徹	◎大城 将也 大津 団	山口 潔乃 松本 拳	初診受付要電話予約	
健診センター		予約制	◎久保田 修	◎久保田 修	△三野 暢哉 ◎久保田 修	◎久保田 修	望月 一文 ◎久保田 修		

家庭医療センター	区分		月	火	水	木	金	特記事項
	内科 小児科 整形外科 皮膚科	午前	初・再診	潘 鎮敬 樋口 智也	城向 賢 潘 鎮敬 吉岡 優	松田 真和 稲葉 史明	津田 司 稲葉 史明 小林 駿介	津田 司 松田 真和 吉岡 優
	午後	初・再診	松田 真和 稲葉 史明 吉岡 優	城向 賢 稲葉 史明 吉岡 優	津田 司 潘 鎮敬 吉岡 優 森田 修平		松田 真和 潘 鎮敬 稲葉 史明	受付 13:00~16:30 毎週木曜PM休診

- 正面入り口は7:45に解錠となります。
- 予約変更時間 15:00~16:00 (各科にお問い合わせください) ※お電話にてお問い合わせください。
- 入院患者さまとの面会は当面の間、制限させていただきます。
- 「◎」印は診療科長、「○」印は医長、「△」印は非常勤医師を表します。
- 緊急手術や、学会等への出席のため、担当医師の変更や休診する場合がありますので、ご確認ください。
- 他の医療機関から当院へ受診される方は紹介状をご持参ください。
- 内科以外の初診については、紹介以外でも受付が可能です。
- 11:00以降の時間内救急は担当者が状態をお聞きした上で緊急を要する方のみ診療となります。

お問合せ先

TEL 0537-35-2135 (代表)
FAX 0537-35-4484

地域医療支援課 / TEL 0537-35-2344 ・ FAX0537-35-2843
健診センター / TEL 0537-36-5585
家庭医療センター / TEL 0537-73-2267 ・ FAX0537-73-5557



運動とこころの健康

精神科 大津 団

心の健康の要素として適度な運動、バランスのとれた食生活、休養、良好な睡眠、ストレスと上手く付き合うことなどがあげられます。皆さまは運動しているでしょうか。

運動とは体を動かすこと。つまり、日常生活での活動やスポーツを指します。人間は動物であり、他の動物と同様に動く仕組みが体の中に備わっています。しかし、便利な世の中になるにつれ、運動する機会が減っています。身体活動量の低下は体や心臓の健康だけでなく、心の健康にも影響を及ぼしています。

運動をするとどんなメリットがあるのでしょうか

①生活習慣病の予防

食事から摂取したエネルギーと、運動により消費したエネルギーがバランスよく保たれていることが健康のために良い状態といえます。摂取エネルギー>消費エネルギーだと脂肪として体に蓄積され、肥満が原因となる糖尿病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病になるリスクが高まります。運動がこれらの予防に繋がります。

②筋力や身体機能の維持

持っている機能を使わないと、驚くようなスピードでその機能は低下していきます。筋肉や心肺機能の低下は日常生活に支障をきたすこともあります。筋肉はいくつになっても運動をすることで増やすことのできる組織ですので、運動をすることが機能の維持に繋がります。

③認知機能低下やうつ病の予防

運動は神経細胞を増やし、記憶や情動で大切な海馬じょうとうという脳の領域の体積を増加させ、認知症のリスクを下げます。また感情に関わるセロトニンやアドレナリンを調整してくれます。運動をすることで気分の改善にも繋がります。運動をした・継続したことで得られる達成感、自己効力感の高まり、向上したという成功感があります。これらは人に自信を与え、困難に立ち向かう気力を高めてくれます。身体活動や運動は、うつ病の回復期に復職や社会復帰のために行われるプログラムの一つに組み込まれているほどです。

④睡眠の質の向上

運動をすると入眠しやすく、睡眠レベルも深くなります。運動をする人とならない人では、する人の方が不眠になりにくいという研究もあります。

⑤ストレス対策

運動で筋肉を動かすことでストレス物質を消費できます。また運動後は副交感神経が優位となり、精神的に安定しやすくなります。

以上のようなメリットがある運動ですが、どんな運動をしたらいいでしょうか。気負うことはありません。「歩こう!」ではなく、風景を楽しみながら歩いてみたり、いつもより早歩きで歩いてみたりで大丈夫です。テレビを見ながら軽い筋トレ、エレベーターを使わずに階段を登る、座りっぱなしにならないように1時間に1回立ち上がって用事をこなす。ちょっとした工夫を日常生活に取り入れてみるところから始めるといいかもしれません。「1日1時間歩こう!」という長続きしませんので、まずは1日5分から開始し、徐々にステップアップしていくと長続きしやすいです。運動を行うことで大切となるのが以下の点です。

- ・無理をしない、頑張りすぎない
- ・焦らず休養を取る
- ・運動を休むことに罪悪感を持たない
- ・ノルマを持たない、与えない

これらを意識しながら運動を続けることで、こころと体の健康を維持していきましょう。



超音波診断装置 “ポケットエコー” が導入されました

リハビリテーション科 理学療法士 川合 弘基

皆さまはエコーと聞くと何を想像しますか？「お腹の中の赤ちゃんをみるために使うもの」を想像する人も多いかと思います。そのエコーがなぜリハビリと関係あるの？そう思われる方も多いと思います。今回はエコーの特徴やリハビリテーション科でどのようにエコーを活用していくのかについてお話ししていきたいと思います。

○ エコー（超音波）とは

超音波とは一般的に 20kHz 以上の「人の耳には聞くことのできない高い音」のことをいいます。超音波検査では、身体に照射した超音波が反射し、反射した超音波を解析・画像化することで、身体の組織を評価します。長所としては痛みがなく、放射線被ばくもないことから手軽に繰り返し検査ができること、リアルタイムに観察ができることがあげられます。また軽量で小型化されたポケットエコーは持ち運びが容易になりました。短所としては骨の表面で反射してしまうため、骨の下にある組織は描出できないことや、操作に習熟が必要ながあげられます。

リハビリテーションでは①関節や筋肉の動きを可視化②深層筋など触診が難しい部位の徒手療法の精度向上③患者さまへのフィードバックなどとして活用していきます。



関節や筋肉の動きを可視化

従来は、筋肉を伸ばしたり、関節を動かしたりした時の固さを手の中で感じることで「おそらくこの筋肉や関節が固いだろう」という仮説を立てて治療をしていましたが、エコーを使用することで動きの悪い関節や筋肉を実際に目で確認しながら治療を行うことができます。

深層筋など触診が難しい部位の徒手療法の精度向上

深層にある筋肉いわゆるインナーマッスルのような触診が難しい部位であっても、エコーを使用することで実際に触れている部位を確認しながらマッサージや筋力トレーニングの指導を行うことができます。

患者さまへのフィードバック

リハビリテーション前後で関節や筋肉の動きにどのような違いが出たのかを視覚的にとらえることができ、患者さまのモチベーションアップに繋がりがやすくなります。また関節や筋肉の動きを確認しながらトレーニングの指導を行うことで、どのように力を入れたら良いのかがわかりやすくなり、ホームエクササイズに向けた指導に役立てることができるようになります。

患者さまのリハビリテーションにエコーを活用することで、より良いリハビリテーションを提供できるように研鑽けんさんを続けていきます。

治験のお知らせ

当院では**子宮内膜症**の患者さまを対象とした治験を実施しております。

治験とは… お薬を患者様に使っていただいて有効性や安全性について調べる試験を「臨床試験」といい、厚生労働省に医薬品として認めてもらうために行う臨床試験を『治験』と呼んでいます。

【ご参加いただける方】

- ✓ 子宮内膜症の方
- ✓ 中等度以上の月経痛などの痛みをお持ちの方
- ✓ 20歳以上 49歳以下

※その他参加基準があります。問診や検査の結果などによってはご参加いただけない場合もあります。予めご了承下さい。



詳しいことは、お気軽にお問合せください

菊川市立総合病院 0537-35-2135(代)

●問合せ窓口：治験管理室 岡田祐子・松下久美

●受付時間：月曜～金曜（祝日を除く）9時～16時



ルピナス通信

Lupinus communication Vol.12

生演奏で祝福

頑張ったママ、生まれてきてくれたベビーへ
小林医師がオカリナの生演奏で祝福をしました。
コロナで面会ができないため、パパ不在ではありましたが、
オカリナの優しい音色が少しでも癒やしになれば嬉しいです。



ママとベビーに対し、オカリナの生演奏で祝福する小林医師

院内防災訓練を実施

12月4日の「地域防災の日」に院内防災訓練を実施しました。地震などの大規模災害時に、地域住民の生命、健康を守り、「防ぎ得る災害死」を一人でも減らすために、職員一人ひとりが自ら考え実践する医療救護体制の確立を目指します。今後も継続的に訓練を実施していきます。



外来ホールにクリスマスリースが飾られました

12月8日から26日までの間、当院外来ホールよろず相談前にクリスマスリースが飾られました。このリースは、当院精神科デイケアに通所する患者さまが作られたものです。飾られている期間中は、外来患者さまにもクリスマスの雰囲気を感じていただけるものとなりました。



Info 地域連携つうしん(医療機関向け)

地域連携・福祉相談係では、近隣開業医、近隣病院向けに「地域連携つうしん」を発行しています。当院の特徴ある診療内容や新しい機器の導入、更新情報などを発信しております。

今回の特集内容は、令和4年10月号「心身医療外来を開設しています」、令和4年12月号「総胆管結石症の治療」です。ご興味のある方は、ぜひご覧ください。



令和4年10月号



令和4年12月号